

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月15日

事業所名 キッズハウスOkav

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		プレイルームの活動内容や利用人数によってコーナーを作る等工夫しています。	学習室、プレイルームとも活動によって死角がないよう、指導員の配置と連携に配慮しています。
	2 職員の配置数は適切である	4	1	児童の安全確保と適切な指導体制を確保するため、必要数の職員を配置しています。	1対1対応の児童への対応や、より細やかで個別の対応と考える時にはどうしてもより多くの職員をと考える場合もあります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		安全面や分かりやすさ、使いやすさを考えた表示やコーナー作りを工夫しています。	現在利用している児童はバリアフリー化の配慮を必要としていないが、今後の利用者や、福祉施設ということを考えると、改善していく必要がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		清掃の徹底、空気清浄機や清掃の際には次亜塩素酸ナトリウムを使用する。清潔や伝染病予防ガイドラインを参考に衛生環境の保持に努めています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	始業前のミーティングでの前日の振り返りや、行事の翌日や月1回の研修日に、振り返りの時間を設けている。	まだ改善したばかりのため、継続して定着を図っていく必要がある。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	4	今回初めての評価表導入になるため、今後の業務改善へつなげ、継続していく	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		5		今回の結果を集計し、改善策を検討した後、ホームページで公開する
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		開所して1年たったばかりのため、まだ第三者評価を導入していない後の検討課題とする
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		職員の資質向上を目指し、月1回事業所ない研修を定期で行っている。継続し常に資質の向上を図る	意欲をもって職務に通じる研修や資格を取得する場合は事業所として積極的に支援している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		相談事業所からのサービス利用計画書やアセスメントシートをもとに保護者との面談、職員との会議等を経たうえで作成した計画書案を提示し、説明を同意をいただき計画書を策定している	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			事業所独自のアセスメントシートを使用しているが、参考資料等を基に必要項目の追加などを行い変更を検討していく
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		ガイドラインに沿った内容になるようモニタリングやアセスメントを十分行い項目を選択しています。	どうしてもご家族の意向が多くなる場合もありますが、今後も適切に項目洗濯がされるよう保護者様にも丁寧に説明していきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		事業所内でガイドラインを読み合わせし計画内容を把握し全体で共通の支援が出来るよう会議等を持っています。	計画に沿った支援の充実が出来るよう、勉強会等を行いさらなる職員の質の向上を行います。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		業務改善として、前月より職員全員でおおよその月ごとのプログラムについて計画を立てて、日々の活動の詳細な計画はその日リードする職員が時間等の組み立てをしている。	チームで子どもたちの興味や関心、身につけたい事等共有し合い、今後も活動内容の充実など改善を続けていく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		季節の行事や子どもたちの興味関心に沿った活動内容を計画へ取り入れている。	今後は活動や行事に添って、より詳細配慮がわかる計画作成をしていく
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		集団の活動の場でも、児童の状況に応じ個別対応が必要な場合は臨機応変な対応を心掛けている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎朝の職員ミーティングで前日の児童の様子と当日の活動方針を話し合い、送迎や活動の役割分担などを確認している	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		職員の勤務シフトがあるため、当日での振り返りや話し合いは難しいが、気になることや伝達事項は記録しておき、翌朝のミーティングに全員で前日の振り返りや問題等の周知を行っている	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	支援終了後速やかに記録をするようにしている。	今後は記録内容をより生かすために職員同士で意見調整をしながら個人の見解にとどまらないように配慮して記録したり、観察の視点を定めていく必要がある。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		定められた期間に合わせてモニタリングを実施し、結果に基づいて職員による事業所内検討、伝達会議を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		担当者会議には児童発達管理責任者が参加する。事前に職員間で児童の様子について確認を行い課題やニーズの洗い出し等を行っている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		個々のお子様に必要な支援について積極的に機関と連絡をとり連携を図って支援出来るように努めています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5		現在医療的ケアが必要な児童の受け入れは設備の都合上行ってないが、受け入れを検討する場合には、同法人看護師と共に受け入れ態勢を整えます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		保護者の要請、同意のもと保育所や幼稚園等との連絡調整や情報共有など担当者会議や送迎の際に積極的に情報共有、相互理解に努めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		保護者の要請、同意に基づき当事業所における支援内容の情報を提供しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		現在、見学の調整や研修受け入れ等の計画を行っています。今後積極的に連携を行いたいと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	土曜日や長期休暇、公園の利用などを通して地域の子どもたちと関わる機会を設けています。	同法人保育所との交流や、地域の行事への参加で、より機会を持てるようにします。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎の際など、その日の様子や気になる様子など、直接保護者と話し合えるよう心掛けている。また、支援の状況なども具体的に様子を伝えるようにしている	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4		普段から、関わり方や対応については助言等を行っているが、ペアレントトレーニング等の対応の支援はまだ行ってない。今後準備を行い取り入れていきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	契約時に丁寧な説明を心掛けている。	利用していくなかでの疑問や質問にも丁寧に対応、お答えできるように努力していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		保護者の方がわかりやすいよう、ガイドラインに沿った計画を丁寧に説明するよう努めています。わかりにくい内容は易しい言葉で説明しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		日頃の何気ない会話の中から信頼関係を構築できるように努めています。保護者からの質問や悩み等には、職員間で共有し事業所全体でフォローしていくようにしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		現在保護者会等の活動をまだ立ち上げておらず今後の課題として検討する
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2	これまで大きな苦情はないが、保護者からの意見や質問等については職員全員で対応を協議し、迅速に丁寧な対応を行っている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	業務改善として、10月より会報とホームページの更新を行っています。	今後さらなる活用の工夫、情報の発信を行います。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	1	個人情報の記載された書類は管理者が保管している。職員の採用、退職時には情報漏洩しない旨の誓約書を提出させている。保護者へ、会報等への児童の肖像権同意書や支援事業所への情報提供同意書の提出をお願いしている。	
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		児童の状況に応じた対応や分かりやすい表示、支援の工夫を行っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		同一法人内の保育園児との交流等を行っていますが、今後さらなる工夫や対応を検討していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	3	マニュアルを作成し、職員間で研修等を通して周知している。	保護者への周知までには至っていない為、保護者がいつでも手に取って見られるような工夫改善を検討します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		運営規定、災害対応マニュアルに基づき自主訓練を行っている 今後通報訓練も予定している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		入所前の保護者との会議で健康面、現在服用している薬と取り扱いについて話し合い、必要があれば医師の指示書等を用いて確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	アレルギーについては契約時に保護者から情報提供をうけ、医師の指示書の必要性を伝え提出してもらおうようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		ヒヤリハット記録をとり、迅速に改善、職員への周知を図り対応している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	虐待防止マニュアルに基づき職員への周知徹底を図るため、研修内容へ組み込んでいます。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	現在の利用者では身体拘束の必要性はないし、基本身体拘束は行わない。	今後対応が必要になる場合は、法人本部と十分協議し、保護者への説明、同意と承諾を求めます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。